

ノウフク・アワード2024応募用紙

【その他 高齢者介護施設等】

1. 応募者の概要(必須)			
名称	(ふりがな)しゃかいふくしほうじんふくふく かいごろうじんほーむ のうふくのいえ 社会福祉法人福福 介護老人ホーム ノウフクの家		
所在地	〒000-0000 〇〇県△△市		
担当者連絡先	部署・役職 メール	施設長 aaaa@bbb.com	氏名 電話番号 〇〇 △△ 000-00-0000
取組主体 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 農林水産業経営体 <input type="checkbox"/> 農林水産業関係団体 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 特例子会社 <input type="checkbox"/> 地方自治体 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 地域協議会 <input type="checkbox"/> 矯正施設 <input type="checkbox"/> 更生保護施設 <input type="checkbox"/> 高齢者施設 <input type="checkbox"/> その他()		
設立年月日	(西暦) 2012年4月 (設立12年目)		
農福連携開始年月日	(西暦) 2020年7月 (開始4年目)		
取り組んでいる事業 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 農業(<input checked="" type="checkbox"/> 慣行農業 <input type="checkbox"/> 環境保全型農業 <input type="checkbox"/> 特別栽培農産物の栽培 <input type="checkbox"/> 有機農業(自然農法を含む)) <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 水産業 <input type="checkbox"/> 加工業 <input type="checkbox"/> スマート農業 <input type="checkbox"/> 輸出 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 A 型 <input type="checkbox"/> 就労継続支援 B 型 <input type="checkbox"/> 就労移行支援 <input type="checkbox"/> 生活介護 <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者介護 <input type="checkbox"/> 中間支援 <input checked="" type="checkbox"/> ユニバーサル農園 <input type="checkbox"/> その他()		
実施要領3(1)募集する取組のうち該当する取組 (最も力を入れている取組について1つ選択して下さい)	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ⑦ <input type="checkbox"/> ⑧ <input type="checkbox"/> ⑨ <input checked="" type="checkbox"/> ⑩ ※①農業経営体が障害者等を直接雇用している取組 ②社会福祉法人等が運営する障害福祉サービス事業所が自ら農業を行う取組、又は自ら生産した農産物等を使って加工食品の製造を行う取組 ③社会福祉法人等が農業法人を設立し、当該農業法人において障害者等が農業を行う取組 ④農業法人が障害福祉サービス事業所を設立し、当該事業所の障害者等がその農業法人の農場等で農業を行う取組 ⑤農業経営体と障害福祉サービス事業所が農作業に関する請負契約を締結して、障害者等が施設外就労で農作業等を行う取組 ⑥地域内又は近隣の市町村等の農業経営体や障害福祉サービス事業所と連携して、これらから農産物等を仕入れて、障害福祉サービス事業所等が加工食品の製造を行う取組 ⑦企業や協同組合などが自ら、又は特例子会社を設置して障害者等を雇用し、農業を行う取組 ⑧地域協議会、NPO法人、協同組合等による、地域の農福連携等の需給状況の把握や年間を通じた農作業の創出、マッチング、地域の農業の特性を踏まえた農作業の受委託のルールづくり、農福連携等の取組主体の拡大に向けた体験会の開催、人材育成等の役割を整理・周知等の取組 ⑨地方公共団体等が支援して農福連携を行っている取組 ⑩その他、地域における農福連携の定着に向けた取組、障害者等の農林水産分野での活躍を見据えた取組、ユニバーサル農園の取組、特別支援学校等教育機関での取組、高齢者施設、矯正施設や更生保護施設での取組、生活介護や放課後等デイサービスなど福の広がりに関する取組等、未来につながる取組		

生産作物 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 米・麦・大豆 <input checked="" type="checkbox"/> 野菜 <input type="checkbox"/> 果樹 <input type="checkbox"/> 畜産 <input type="checkbox"/> その他()
栽培形態 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 露地 <input type="checkbox"/> 施設園芸 <input type="checkbox"/> その他()
農福連携の体系図	社会福祉法人福福—介護付有料老人ホーム ノウフクの家 —デイサービスセンター農福 (該当する場合)※複数回答可 <input type="checkbox"/> 直接雇用 <input type="checkbox"/> 施設外就労 <input checked="" type="checkbox"/> 農業参入
認定・取得済みの 認証等 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 認定農業者(認定新規就農者を含む) <input type="checkbox"/> 6次産業化認定事業者 <input type="checkbox"/> ノウフク JAS <input type="checkbox"/> 有機 JAS <input type="checkbox"/> GGAP <input type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他の GAP <input type="checkbox"/> その他()
受け入れている者 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> その他の障害 <input type="checkbox"/> 生活困窮者 <input type="checkbox"/> ひきこもりの状態にある者 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 犯罪をした者 <input type="checkbox"/> その他()

2. 取組の概略(必須) 取組の特長などを要約して60文字程度で記入してください。

認知症予防と改善のため、農地を借りて農業を開始。土や植物に触れ、自分たちが作った農産物を販売し、交流を図ることで、生き生きとするようになった。

3. 活動のきっかけ(必須) ※200文字程度で記入してください。

◆認知症予防と改善のため、実際に認知症高齢者の方が農作業を行っている施設を訪問し、運動・認知トレーニングや十分な睡眠、社会参加による効果を確認して、認知症予防と改善に向けて農作業を取り入れることとした。

◆当施設では農地を所有していないため、市に相談して、近隣の荒廃農地を借り受け、職員で農地を再生して農作業を開始した。

◆職員には農業の経験がなかったため、県やJAに相談し、近隣の農家を紹介していただき、指導を受けながら、ほうれん草や水菜、トマト、なすの栽培を行った。

4. 取組の具体的内容及び成果(効果)(必須)

※審査基準である①人を耕す、②地域を耕す、③未来を耕すについて、活動内容、時期及びその成果(効果)をそれぞれ600文字以内で記入してください。※字数制限を著しく超過する場合は減点対象となります。あらかじめご了承ください。

※応募主体別の審査基準の評価ポイントについては以下をご確認ください。

- ・農業経営体が主体となっている取組の審査基準はこちら(URL:)
- ・福祉事業所等が主体となっている取組の審査基準はこちら(URL:)
- ・特例子会社や企業等が主体となっている取組の審査基準はこちら(URL:)
- ・JA、NPO法人、地域協議会等中間支援組織が主体となっている取組の審査基準はこちら(URL:)
- ・その他(特別支援学校、高齢者介護、放課後等デイサービス等)の取組の審査基準はこちら(URL:)

① 人を耕す(例:①工賃や賃金の向上に対する取組、②障害者等が管理者や責任者などにステップアップしている事例、③農作業中等の安全管理や健康管理の取組、④一般就労につながった事例、⑤多様な人々が働くことができる職場環境の創出に関する取組、⑥多様な人々がお互いを認め合い、寄り添い、助け合おうとする環境の創出に関する取組等について記載してください)

◆認知症の利用者が、農作業を行い、土や植物に触れることで、介護スタッフに笑顔を見せるようになり、歩行訓練にも積極的になるなど、心身ともに安定し、生活全体の介助量も減少した。

◆作業中の安全対策には十分な注意を図り、認知症高齢者が使用しても安全な農機具の開発を福祉事業所で使用している治具を参考に行い、怪我の防止に努めている。また、畝の間隔を広げ、車いすの方でも農作

業が安全にできるよう工夫している。また、夏場の熱中対策も万全を図り、休憩所には冷風扇を置き、逐次水分補給が行えるよう指導員が巡回し、水分補給を促している。

◆工賃等はないが、生産した野菜は、当施設が開催する直売会などで販売し、売上金の一部を利用者に分配することで、働く喜びを感じるようになり、生き生きとした生活を送れるようになった。

◆当施設の認知症の利用者の中には、昔、農作業をされていた方が多く、農作業をすることにより自分らしさを取り戻し、社会の一員としての自信を取り戻すことができるようになった。

◆腰を屈めなくても農作業が可能のようにレイズベットを導入し、すべての利用者が農作業をできるようにしており、真夏の作業中には日差し除けのテントを張るなど健康管理も適切に行っている。

◆これまで家族と接することを避けていた方も、農作業を通じて様々な人と触れ合うことで、家族ともにこやかに接するようになり、明るさを取り戻すようになった。

② 地域を耕す(例:①農福連携を通じた収益性・生産性の向上、②地域の農地・伝統野菜・農業技術等の継承し、農林水産業の維持・発展に貢献する取組、③荒廃農地の再生等により、地域の農林水産業を支える取組、④地域の祭りやイベントへの参加等を通じた地域コミュニティの維持・発展に貢献する取組、⑤直売所やレストラン・カフェの開設、農作業体験や収穫体験等を通じて地域内外からの交流人口の増加につながる取組、⑥地域の企業、JA、学校、行政等の異業種との連携による地域活性化の取組等について記載してください)

◆取組当初は、2a の農地で農作業を開始したが、農作業に取り組む利用者が増えたことから新たに近隣の荒廃農地を借り入れ、現在は3a の農地で農作業を行っており、わずかではあるが地域の農地の維持に貢献できている。

◆JA もこうした取組に対して積極的に協力しようといった動きが出始めている。

◆地域の方や学生、家族と一緒に農作業を行う取組も行っており、認知症高齢者など介護が必要な高齢者にとって生まれ育った地域で暮らしていける地域包括ケアシステムの構築の実現に貢献している。

◆農産物を直売会で販売することで、地域住民との交流が生まれ、介護高齢者への地域の理解が進んでおり、利用者の地域で暮らしやすい環境の創出につながっている。

◆地域の祭りにも参加し、当施設で生産した農産物を利用者と一緒に販売するほか、地域住民とも触れ合うことで、地域コミュニティの維持にも貢献している。

◆近隣の小学校と幼稚園が農作業体験に訪れ、利用者と共に農作業をすることで、明るい雰囲気生まれ、共に助け合って生きる共助の一面が見られるようになった。

◆こうした取組は、地域内で一定の評価を受けており、取組を進める中で、地域企業の研修の場となったり、学校や JA とも連携を図れるようになり、地域を巻き込んだ取組へと発展してきている。

③ 未来を耕す(例:①先進性・独自性・話題性のある取組、②これから農福連携に取り組む団体等の参考となる取組であり、全国への波及効果が期待できる取組、③持続可能な地域共生社会や多様性のある地域づくりに貢献する取組、④幅広い分野・地域とのつながりを生むことで、新しい農福連携の形が形成されている取組、⑤ノウフク JAS や GAP 等の認証取得や6次産業化などを通じて、生産物の付加価値向上に関する取組等について記載してください)

◆高齢者介護施設でのこうした取組は全国的にも珍しく、当施設の取組を県が主催するセミナーで紹介したところ、他の施設からの見学やマスコミ等から取材が増え、地元のローカルニュースで「介護高齢者の農業分野での活躍を通じた新たな農福連携の在り方」として放映された。

◆医療機関から、認知症高齢者が農業に取り組むことでどのような変化を生じるかモニタリングしたいとの申し出があり、積極的な協力を行うことで、認知症高齢者と農作業との治験の整備に貢献している。

◆他県からの講演依頼が増え、講演を通じて当施設の取組を紹介することで、他県でも同様の取組みを始めた介護老人ホームが現れるなど、取組が広がっている。また、取組を開始した施設から助言等をしてほしいといった依頼があり、実際に出向いて助言等を行っている。

◆当施設が生産した野菜を学校給食に利用してもらうことで、介護高齢者に対する理解が深まり、高齢者を地域で支えていこうといった雰囲気が生まれている。

◆高齢化等で農業労働力が低下し、農地の継承が難しく荒廃農地が増える中で、介護高齢者が農作業を行う姿は地域農家の励みとなっており、農業指導にボランティアで来ていただくなど交流が広がっている。

◆認知症高齢者が今後増加する中で、こうした取組は、全国にも波及することが期待できる。

5. 活動実績(必須) ※「項目」は、①農地面積、②荒廃農地の解消、③売上高、④障害者等 1 名あたりの月平均工賃・月平均賃金、福祉事業所等への請負報酬の支払額⑤農作業に関わる障害者等の数、⑥交流人口等、取組実績がわかるものについて、項目ごとに取組当初時と直近5年間の推移を表形式で記入してください。
特に①～⑤の項目について、該当する場合は必ず記入してください。

項目	単位	取組当初	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年(見込み)
農地面積	a	3	-	3	3	4	4	5
特記事項(任意): 荒廃農地 2a を借りて農業開始、その後 3a に増加								
農産物売上高	万円	10	-	10	20	35	35	40
特記事項(任意):								
農作業に関わる介護高齢者	人	12	-	12	12	16	16	16
特記事項(任意): 農作業に関わる介護高齢者数は増加傾向								
交流人口	人	50	-	50	100	150	200	200
特記事項(任意): 直売所等の交流人口を記載								
特記事項(任意):								

※COVID-19 を原因として減少または減少となる見込みである場合は、実績値に「※」を記入してください。また、COVID-19 関連で実績に影響がある場合は、「4. 取組の具体的内容及び成果(効果)」に影響を踏まえた対応や工夫を記入してください。

6. 活動の主な変遷(必須) ※活動の主な変遷について記入してください。

取組当初	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年(見込み)
荒廃農地 2a を借りて農業を開始		荒廃農地 2a を借りて農業を開始	イベント等で生産した農産物の販売	近隣の小学校や幼稚園と農業体験を通じて交流開始	学校給食に生産物を食材として提供を開始	1年通じて農作業ができるように農業ハウスの設置を計画中

7. 今後の展開方向(必須) ※200 字程度で箇条書きにて記入してください。

- ◆当施設での農作業が軌道に乗りつつあるので、近隣の福祉サービス事業所と連携して、障害者に農作業を手伝ってもらうことを検討中。
- ◆ユニバーサル農園として、介護高齢者だけでなく、生きづらさを抱えた人も一緒に農作業を行えるような取り組みへとつなげていきたい。
- ◆農業が認知症などの介護高齢者のリハビリや認知機能の回復などに効果があることがわかったので、大学と連携して、その効果を科学的に明らかにし、全国の介護老人ホームなどに農業を広めていきたい。

8. 取組内容がわかる写真等(必須)

※写真、図表等を貼付し、20 文字程度で説明を記入してください。取組内容を代表する写真を必ず3枚以上貼付してください。

※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないように十分注意してください。

※写真等を貼り付ける際は圧縮するなどして、Wordのファイルサイズが5MB 以下となるようにしてください。

--	--

9. 表彰等の受賞歴(該当があれば記入)	
表彰名等(受賞年度)	主催者

10. 活動に関するPR・エピソード(自由記入、写真、PR動画 ^④ 等添付可)(任意)
<p>※200字程度で記入してください。</p> <p>この欄への記載は任意ですが、取組を行う中で、上記で記載した内容以外で、これだけはPRしておきたいことや、エピソードとして、取組にあたって苦勞されたこと、取組を進める中で印象的な出来事、取組の中での生じた変化や新たな発見などがあれば記載してください。</p>

- ① 記入欄には指定された文字数の範囲内で記入してください(文字の大きさも、当初の設定から変更しないでください)。
- ② ノウフク・アワードは、農福連携の普及啓発を目的に、表彰された取組内容はもちろんのこと、優良な取組事例を全国へ発信することとしており、応募用紙に記載・掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及びノウフクポータルサイト(ノウフクWEB)への掲載並びに地方公共団体への情報提供等

(農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など)に使用することがございますので、あらかじめご了承ください。(個人名については公表、使用はいたしません。)

③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

④ 「10. 取組に関するPR・エピソード」にPR動画を添付する場合は、動画共有サイト(YouTube / Vimeo 等)やクラウドストレージサービス(OneDrive / iCloud / Dropbox / Googleドライブ)等にアップロードの上、URLを記入してください。